



令和7年10月29日

広島大学長表彰等の授与式について

令和7年度の広島大学長表彰等の被表彰者を決定し、以下のとおり、ホームカミングデーのオープニングセレモニー内において、授与式を執り行います。

「広島大学長表彰」制度は、平成14年度に創設し、教育・研究や社会貢献などで特色ある顕著な業績を挙げ、広島大学の発展に貢献した本学教職員や団体および学外の個人や団体を表彰するものです。

また、「広島大学教育賞」制度は、平成28年度に創設し、本学における教育の実践において顕著な成果を挙げたと認められる教員を顕彰することにより、教員の意欲向上並びに教員の教育方法及び教育技術の向上を図り、もってより優れた教育の推進に資することを目的に表彰するものです。

記

日 時：令和7年11月1日（土）10:00～

（広島大学ホームカミングデーのオープニングセレモニー内）

場 所：広島大学東広島キャンパス サタケメモリアルホール

各表彰：（1）広島大学長表彰 【4人】

広島大学の発展に貢献した者を表彰

（2）Phoenix Outstanding Researcher Award 【6人】

若手研究者のうち、令和6年に執筆した論文数の多かった大学教員、優れた研究業績を挙げ本学の研究力の向上に特に貢献した大学教員を表彰

（3）広島大学教育賞 【4人】

教育の実践において顕著な成果を挙げたと認められる者を表彰

※ 被表彰者の氏名は別紙のとおり。

《参考》広島大学長表彰について

広島大学トップページ＞大学案内＞受章・表彰＞学長表彰

http://hiroshima-u.jp/about/awards/presidents_awards

広島大学トップページ＞大学案内＞受章・表彰＞広島大学教育賞

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/awards/kyoikusho>

【お問い合わせ先】

広島大学長表彰他（1）～（2）

財務・総務室人事部 福利厚生グループ 大橋 沙歩

TEL : 082-424-6024 FAX : 082-424-4612

E-mail : fukumu-fukumu@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学教育賞（3）

教育室教育部 教育支援グループ 呉（ご） 華艶

TEL : 082-424-4831 FAX : 082-424-6170

E-mail: kyoiku-kikaku@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

令和7年度広島大学長表彰 被表彰者(4人)

所属	職名	ふりがな/フリガナ 氏名	業績概要
大学院人間社会科学研究科	教授	あらみ ひろし 荒見 泰史	広島大学3＋1プログラム学生を5年間で学内最多の40名受け入れ、学生の学修背景や専門分野を深く理解し、専門教育を行ったほか、卒業論文の指導や研究方法の確立支援まできめ細やかな指導を行い、多くの学生を本学大学院進学へと導き、本学の国際化及び国際交流の推進に大きく寄与するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
附属福山高等学校	教諭	うえがたに ゆうすけ 上ヶ谷 友佑	附属学校の数学科教諭として教育実践に励むとともに、現場実践に裏付けられた研究活動を行い、数学教育研究において世界最高峰の国際学術誌に筆頭論文が掲載され、国際的に大きな反響を呼んだほか、筆頭著者の査読付き原著論文として、国際誌に7編、国内誌に24編が掲載され、その成果が国内外で高く評価されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
学術・社会連携室未来共創科学研究本部技術センター	技術主任	しおじ つねお 塩路 恒生	技術センター職員として長年にわたる教育研究等支援を行い、学生の活動支援や、小中学校での環境教育など次世代育成及び教育普及活動に貢献したほか、東広島キャンパスや地域社会での環境保全に取り組み、特に稀少種保全や外来生物駆除活動が高く評価され、これらの支援活動が本学のSDGs評価の向上や環境省「自然共生サイト」への認定につながるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院先進理工系科学研究科	教授	ダス カウシク Das Kaushik	地球惑星システム学プログラムとインドの諸大学との全ての交渉を一手に引き受け部局間国際交流協定を締結させたほか、インドとベトナムの複数の大学を訪問し本学の紹介を行い、本学の国際化及びレピュテーション向上に大きく寄与するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。

令和7年度 Phoenix Outstanding Researcher Award 被表彰者(6人)

所属	職名	ふりがな/フリガナ 氏名	業績概要
大学院先進理工系科学研究科	助教	あだち ようへい 安達 洋平	本学の若手研究者として研究活動に邁進し、多くの学術研究論文を執筆されるなど、優れた研究業績を挙げられ、本学の研究力の向上に顕著な貢献をされました。
大学院統合生命科学研究科	准教授	カムランシー Kumrungsee タナッチャポーン Thanutchaporn	
病院放射線部	准教授	かわはら だいすけ 河原 大輔	
病院危機医療センター	特任講師	にしきみ みつあき 錦見 満暁	
病院	助教	ねしげ しゅういちろう 音成 秀一郎	
病院内視鏡センター	助教	やました けん 山下 賢	

令和7年度 広島大学教育賞 被表彰者(4人)

所属	職名	ふりがな/フリガナ 氏名	業績概要
大学院人間社会科学研究科	助教	からしま りょうけん 辛嶋 了憲	教養教育科目である「日本国憲法」において、憲法について丁寧に分かりやすく学生の関心を高める指導を展開し、法学部以外の多くの学生から「My Best Teacher」に推薦される等、卓越した指導力を有しており、専門ゼミの希望者・登録者数においても法学部担当教員の中で高い人気を得ており、優れた教育者として学生から評価されています。また、人柄も親切且つ温厚であり、学生への質問対応等にも、時間を割いて真摯に取り組んでいます。
大学院人間社会科学研究科	准教授	こぐち ゆきこ 小口 悠紀子	災害時に地域在住外国人と日本人の円滑な関係構築に注目し、多文化共生のまちづくりを促す独自の防災学習プログラムを企画・実施しました(第38回マツダ研究助成に採択)。また、学生の成長を促す授業を展開しており、日本人学生だけでなく留学生からも「My Best Teacher」に推薦されています。さらに、指導学生がエクセレント・スチューデント・スカラシップや、人間社会科学研究科地域連携パネル展示優秀賞を受賞するなど、優れた人材育成にも大きく貢献しています。
IDEC国際連携機構	教授	シャリフィ アユーブ Sharifi Ayyoob	留学生を主な対象とした気候変動に関する大学院共通科目である「Climate Change Adaptation and Mitigation」を設計・実施し、ケーススペースのディスカッションや専門家の関与、アクティブラーニング等を通じて学生の理解を深める授業を展開しています。また、令和6年度には学生とのSCI誌共著論文18篇(うち17篇はQ1誌からの出版)を発表するなど、質の高い研究指導を行っており、学生の教育研究指導に顕著な成果をあげています。
大学院人間社会科学研究科	教授	なかお たかし 中尾 敬	文系学生にとって難解な「心理学統計法I」において、学生の理解と意欲を高める授業を実践しており、授業改善アンケートでは満点に近い評価も多く、教育効果の高さが裏付けられています。さらに、博士号取得者10名を育成し、その多くがエクセレント・スチューデント・スカラシップや日本学術振興会の特別研究員に採択され、指導学生の第一著書SCI論文は20本、SCI以外の査読あり論文は8本にのぼる等、研究指導でも顕著な成果をあげています。